# 吉見英子さん

高校 13回生

　戦後まだ日本が、いや世の中が正常になっていない頃、三田から汽車にゆられて通った松蔭。

　聖歌は毎日歌って礼拝も……

　八代先生、長沢先生、岡田先生　沢山の有名な先生方と御一緒し、小川先生にも……

　当時すでにプールがあり、高い所から飛び込んでおられた。

　神戸高校から飛び込みに通われ、私はずっと見ていた。

　同じ人間なのにこうも異なるのかと、汽車で通った私には信じられなかった。父が神戸へ通勤していたので毎日5時起きで。電話も我家にだけあったので、近所の人が並んで待っておられた。私は父に「同じ人間なのに都会と田舎でこうも異なるのは何でやのん？」と文句を言っていた。しかし松蔭には食堂がすでにあった。そして大好きなアイスクリーム、うどん、クッキーが。そして田舎もんと級友に言われたが、小学校で貧しい人の世話を校舎のかげでしていた私。学級委員になってクラスの世話係に。田舎で一番だった私。家族には何も知らせず松蔭生活を楽しんだ。